

サービス業

回答企業42企業

概況

～業況判断D I 値 やや改善で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比2.4ポイント上昇の14.3とやや改善し、前回調査予想値(14.3)と同様の結果となった。項目別では、売上・受注で2.4ポイント低下の14.3、売上数量が4.8ポイント低下の9.5、利益でも4.8ポイント低下の11.9と項目別ではやや悪化となった。

宿泊業では概ね好調に推移。旅行代理店に於いても特に団体客予約多くコロナの終息を実感している。

分野別の状況

～総合的業況やや改善で推移～

宿泊業では格差はあるもののインバウンドの増加、紅葉・忘年会等あり好調に推移。

自動車関連は、車検・修理やタイヤ交換などで業況は堅調に推移するも、部品代の高騰による利益低下や人員不足の問題を抱えている。

理容業に於いては、固定客を中心にコロナ禍前に戻っている。

クリーニング業は、衣替え時期を迎え売上増加となる。

来期の見通し

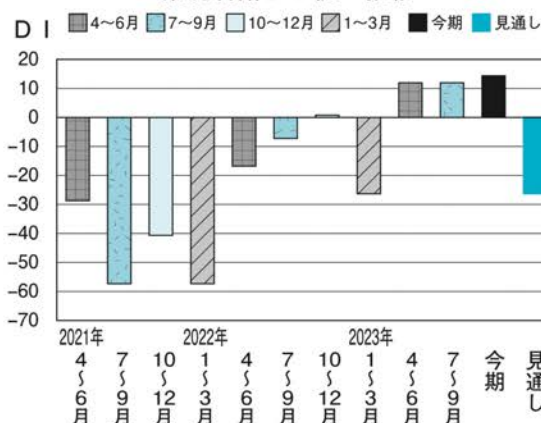
～業況判断D I 値 大幅悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比40.5ポイント低下の▲26.2の大幅な悪化の見通しである。項目別では、売上・受注では31.0ポイント低下の▲16.7、売上数量も30.9ポイント低下の▲21.4、利益でも28.6ポイント低下の▲16.7と各項目とも悪化の見通しとなった。

各業種とも冬季間は一番の閑散期となるため前期比大幅に悪化となるも、前年並みに推移する見通し。

業況判断D I 値の推移



運輸業

回答企業10企業

概況

～業況判断D I 値 改善となる～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比30.0ポイント上昇の20.0と改善したが、前回調査予想値(30.0)は下回る結果となった。項目別では、売上・受注で10.0ポイント上昇の10.0、売上数量が10.0ポイント低下の▲10.0、利益では0.0ポイントの▲30.0の結果となった。

農産物の運送が本格化し前期比業況は改善となるが、猛暑の影響から青果物やりんごの流通量が減少傾向であり、売上・利益にも影響があった。

分野別の状況

～総合的業況は改善傾向～

旅客運送業は、業況堅調に推移。東北各空港での国際定期便の再開によりインバウンド増加も見込まれている。

青果物輸送については、夏場の猛暑の影響から生産量減少した事を受け、例年に比べやや悪化となった。

各企業とも燃料価格高止まりにより利益を圧迫していることから、経費削減や効率化に向けた努力をしている。

来期の見通し

～業況判断D I 値 大幅悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比50.0ポイント低下の▲30.0と大幅な悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で40.0ポイント低下の▲30.0、売上数量が20.0ポイント低下の▲30.0、利益では0.0ポイントの▲30.0となった。

冬季間の青果物輸送は減少期にあり、りんごの生産量の減少から来期の見通しは悪化となる。加えて2024年問題やドライバーの高齢化・人材不足など各企業とも問題を抱えている事も見通しに影響している。

業況判断D I 値の推移

